



杉並区

杉並区では、杉並区基本構想で掲げた区が目指すまちの姿である「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するため、区立施設の更新、再編、長寿命化、利活用等を総合的かつ計画的に行っていく施設マネジメントを区民の皆さんと共に考えながら取り組んでいます。

小学校跡地活用にて今年度開園した「すぎはち公園」をご紹介します。



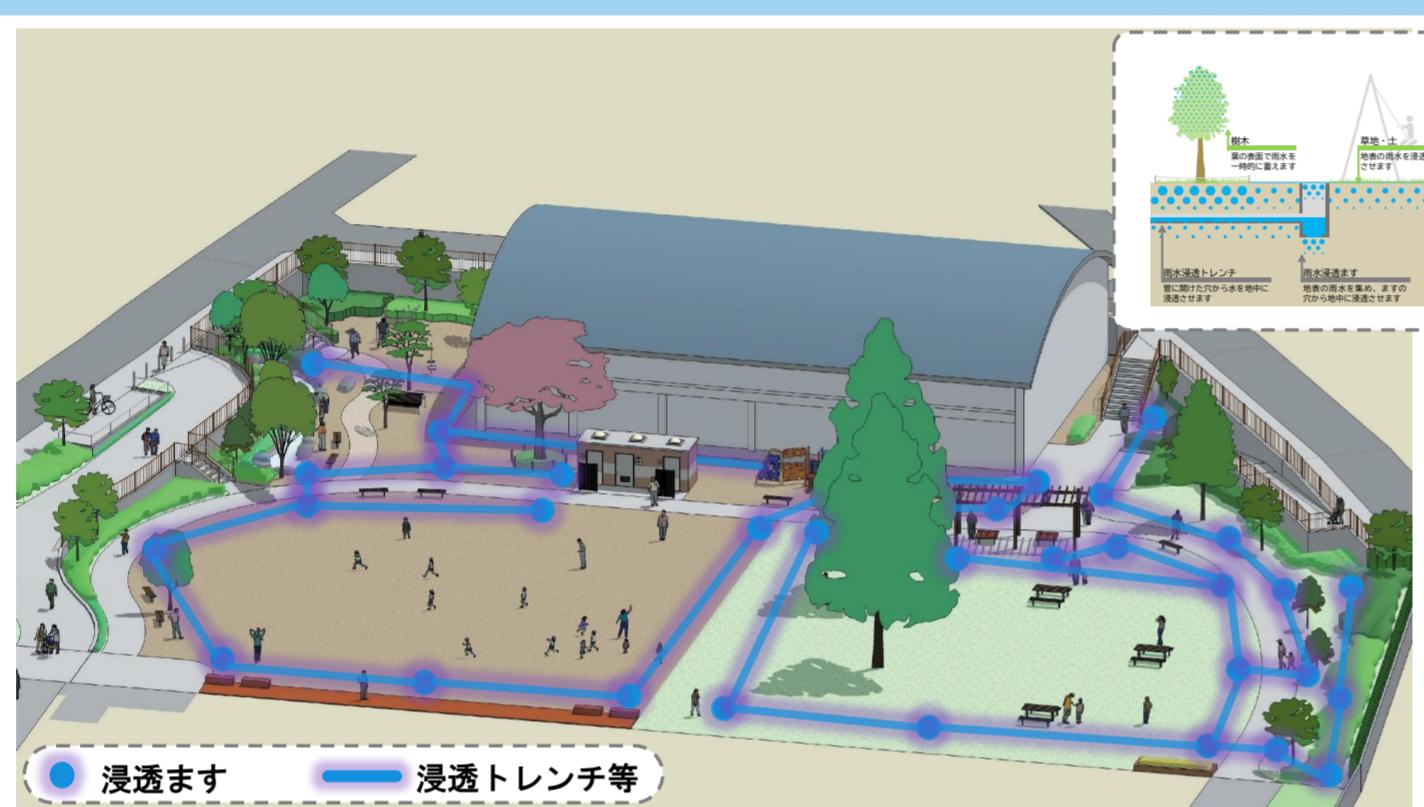
昭和7年から令和2年までの間、杉並第八小学校(高円寺南2丁目40番24号)として使用されていた跡地を図書館等複合施設、公園として整備を行い、今年度より利用を開始しました。

公園の整備にあたっては、ワークショップを行い、地域住民の方の意見を取り入れた公園となっています。主な施設として、体育館を改修して整備した屋内球戯場や多目的に利用できる広場、水の遊び場、複合遊具、健康器具などがあります。

また、公園のシンボルツリーとして小学校の校庭にあったイチョウを2本残しています。



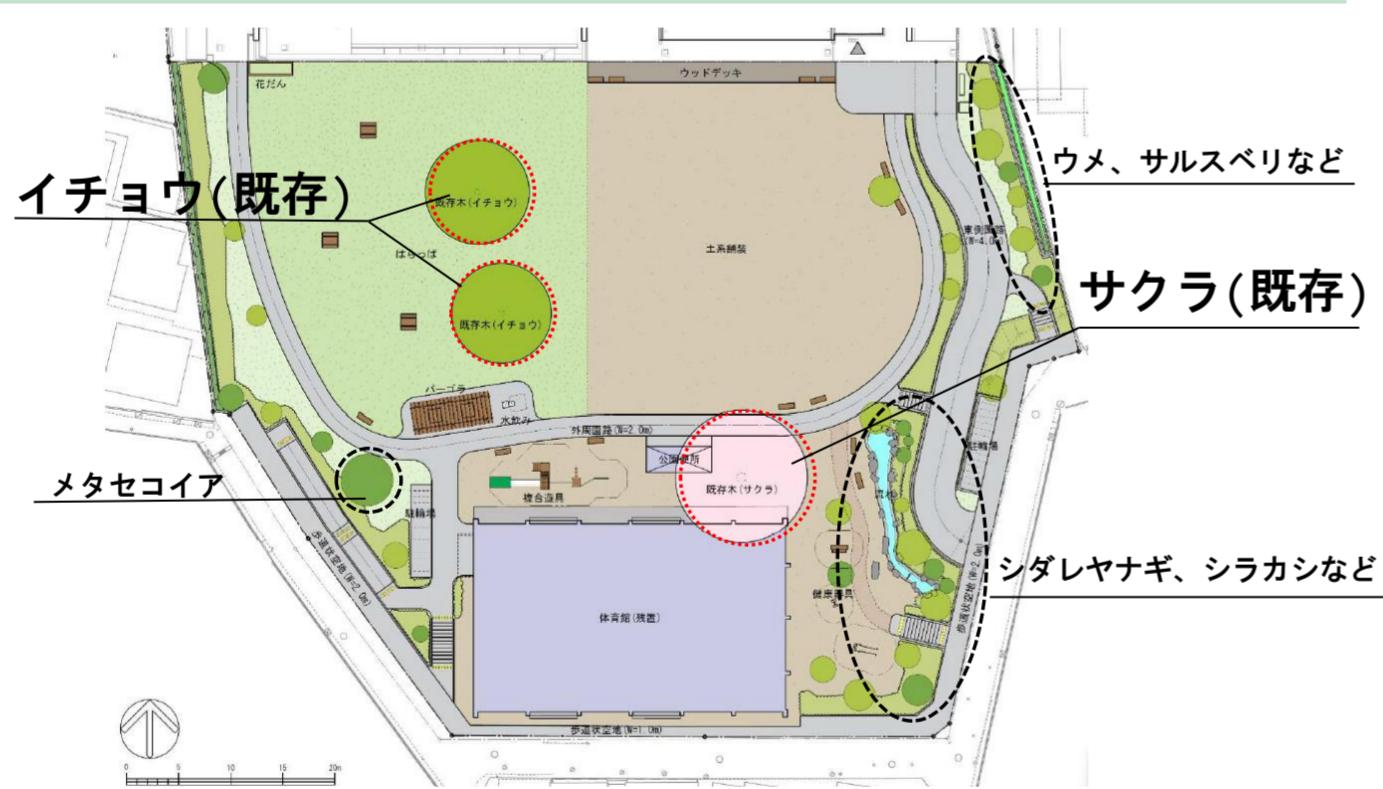
雨を浸透させる取り組み



公園は、草地や植栽地に多くの雨が浸透する「グリーンインフラ」です。

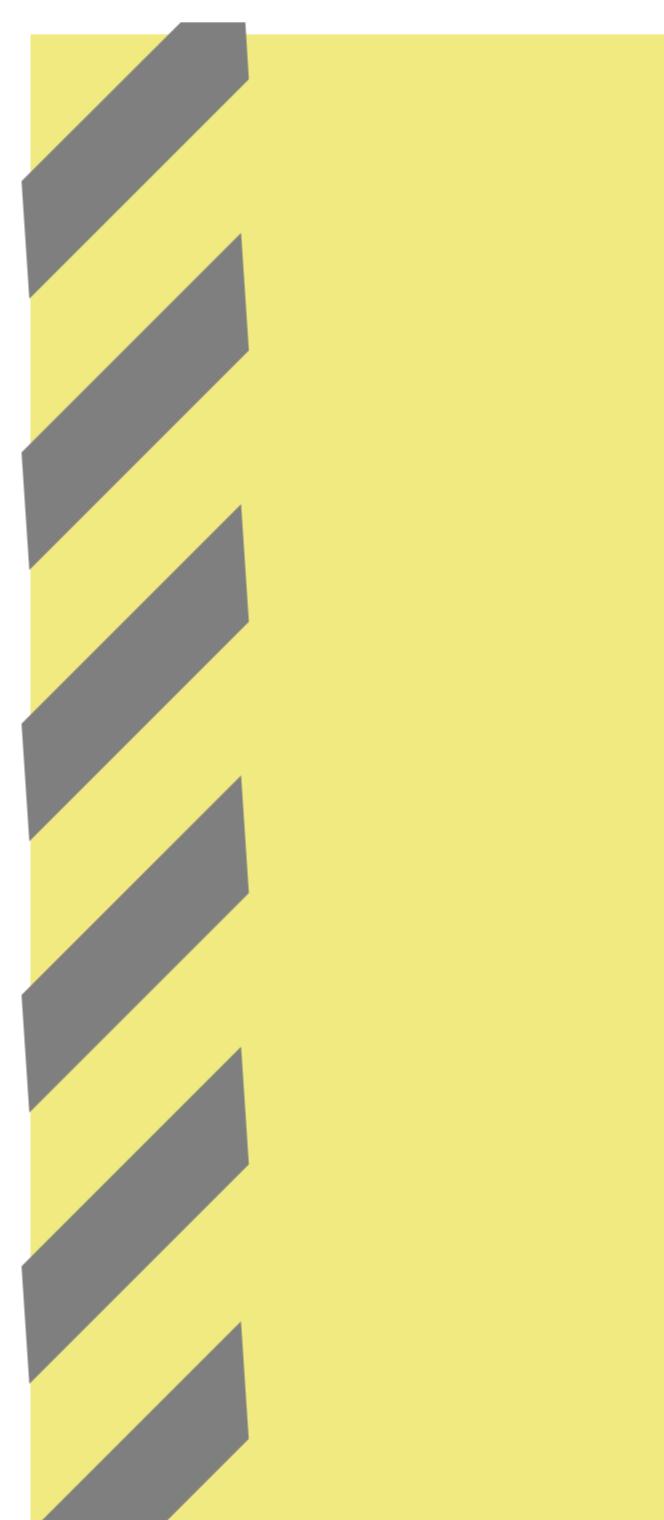
地面を覆うブロックや舗装は、透水性にすることで雨水を浸透させます。さらに、浸透ます(35箇所)や浸透トレーンチ(約350m)などの設置により、大雨を一時的に貯留し、ゆっくり浸透させ、川の氾濫を防ぎます。

みどりを守り増やす



杉並第八小学校の頃から地域にシンボルとして親しまれてきた、イチョウ、サクラなどの樹木を残して整備を行いました。

今回の工事では、メタセコイアやシラカシなど高木22本をはじめ新たに樹木を植栽しており、増やしたみどりも大切に育てていきます。



災害への備え



幅 4 mの通路

災害備蓄倉庫

すぎはち公園は、高円寺図書館・コミュニティふらっと高円寺南とあわせて、震災救援所に指定されています。

公園を整備にするあたり、災害時に敷地内を緊急車両が通り抜けられる、幅4mの通路をつくりました。また、屋内球戯場内に区の備蓄物資を保管するための災害備蓄倉庫を整備しました。

地域に親しまれる公園

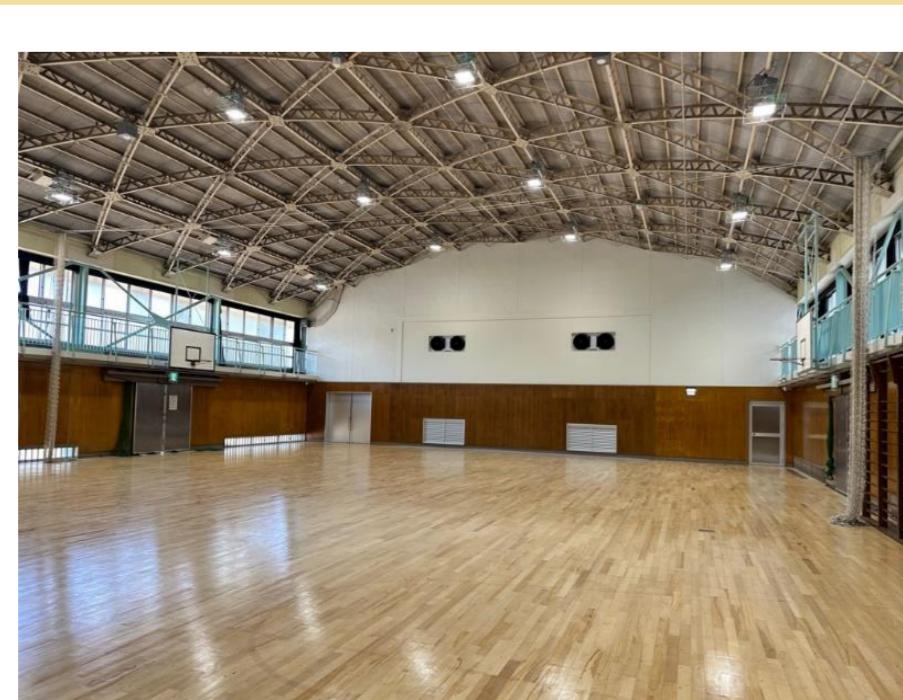


公園の整備にあたり、ワークショップや説明会などを行い、地域の方に親しまれる公園になるように検討してきました。

「0~100歳まで、多世代が集い、地域の核となる公園」を基本方針として、様々な施設を整備しました。



【問合せ先】
杉並区みどり公園課
☎ 03-3312-2111



旧杉並第八小学校の体育館を活用し、屋内球戯場として整備しました。天候によらず、予約不要で、中学生以下を中心に誰でも自由に遊ぶことができます。



屋内球戯場